

8月オレンジ第2だより

令和4年8月1日発行

私たちの保育活動の中で、色々な遊びの広がりを子どもたちに体験して欲しい・・・そんな思いの中で7月の七夕様から、夏祭りに向けて子どもたちが、歌うや踊り、制作や飾り付けと沢山の経験をしながら夏祭りを盛り上げようと頑張った7月でしたが、コロナ感染拡大第7波の影響で、保育がなかなか思い通りに進めることが出来ず残念でした。

いいよいよ8月は「夏あそび」を中心に水に触れ・どろんこに触れ、科学遊び的な体験を沢山計画しております。

水の不思議・泡の出る水・冷たい氷、・・・色水・・・噴水・・・水鉄砲・・・シャボン玉

どろんこや粘土の不思議・・・水で柔らかくした土や小麦粉粘土、かたい・やわらかい・きもちいい・・・

また、大自然の中の入道雲の形・・・海のサンゴや貝殻・・・山の植物や形、変化にも気づき子どもの「つぶやき」を拾いながら、遊びを展開し楽しめます。

熱中症・虫刺され、手足口病、アセモ、アタマジラミ・・・など、子どもたちの体調変化を視野に入れながらご家庭と連携を取り、一人一人の子どもの育ちを支援したいと思っています。

・・・夏祭りは9月に延期させて頂き、9月17日(土)保護者参加を含めて、予定しています。

・・・ミニミニ運動会、予定通り10月15日(土)に、親子レクを視野に考えています。

・・・10月の中旬から、次年度の3歳児の卒園に向けて、2歳児の進級に向けての個人面談を行い、11月からの那覇市への申し込みに供えたいと考えています。

保育園では、緊急なお知らせや、必要なお知らせを常に保育園のブログを更新し掲載しております。毎日、ブログへは目を通して頂きますよう、よろしくお願いします。

戸外へ出かける機会を増やしましょう

7月海の日・8月山の日と自然に親しむ祭日があります
コロナ感染拡大の影響で、室内や家庭内で過ごす事が多くなりましたが、子どもたちはできるだけ、戸外に出て自然と親しみ、自然の中から学び取って欲しいことが沢山あります。子どもは自然の中から、色々な発見や驚き、自分で考えて遊びを見つけ出す天才です。

正論を教えるのではなく、子どもの「つぶやき」に共感し耳を傾けると、我が子の意外な「長所」が見えてきます

又、旧盆という先祖の供養について

「ウートウトウ」の文化や習慣について、手を合わせて感謝や先祖とのつながりに自分の存在を意識する
このように、行事や四季を通して、親が話してくれたことは大人になってから、理解出来る時が訪れます。

何でも無いような日常の中に、親子の会話を楽しんで欲しいと願っています。

8月の行事予定

8月1日 ・生活の日 持ちものの名前あるかな
虫刺されやケガはないかな
子どもと一緒に点検します。

8月10日・旧盆入り・

8月11日 山の日で休園

8月12日(金)お弁当の日 ウークイ

盆で保育園をお休みする予定があるお子さんは早めに保育園に連絡をお願いします。

8月19日・・・避難訓練

8月20日(土)午後 職員研修 家庭保育ご協力

8月22日・発育測定・ベビーマッサージ

8月は・・・スイカ割り・かき氷作り・水遊び・どろんこ
と各年齢別に計画しております。

汚れてもいい服の準備や、持ち物がわかるように記名をはっきりと書く等クラスからのお願いがあります。ご協力を！

コロナ禍の中で、今までの「当たり前」を見直す

今までの日常生活や保育活動の中でコロナの影響で変化した事が、多々あります。

乳児にとっては、大人の顔の表情から読み取り感情の表出の仕方、うれしい笑顔、困った顔、怖いときの顔 悲しい、寂しいを表情で覚えて、まねて育つという、とても大切な育ちだったのですが「マスク」という現象がそれを奪ってしまいました。そのために、私たちは絵本やペープサートを利用し、うれしいね・嫌だったね 怒っているね、笑ってご覧いいお顔・・・など時には鏡を用いて子どもたちに言葉と表情が一致するように伝えるようにしています。

目を見て話しをする・目を見て話しをよく聞く・・・人と人が交わりながら社会が成り立っています。

当然、コミュニケーションがうまく取れると、社会で「生きやすい」といわれます。孤立した生活は何の刺激もなく、寂しい事です。身の回りの事は、大きくなれば誰でも出来ます。しかし、人との交わりの基本は乳幼児期の、育児・保育のあり方に大きく影響されます。

私たち、大人が子どもたちにしてあげられること、それは「子どもの話をよく聞くこと」です
目を見て、子どもが何をしたいか、何をして欲しいか内面の心の読み取りが大切です。

そして、共感し・うなずく・・・それが出来てから・・・大人の思いを子どもに聞いてもらうという順序があり
一方的に、指示・命令・禁止だけでは、子どもは聞く耳を持ちません。

「何で言うことを聞かないの？」という前に、大人が聞いているか大切ですね・・・

保健だより

ご存じのようにコロナウイルス感染拡大が猛威を振るっております。

いつ誰が感染してもおかしくない状況です。

まだ、決定事項ではありませんが、7月28日の知事の表明によりますと、感染者の拡大に伴い、保育園などで実施しているPCR検査に関して、無症状であれば検査を待たずに登園を可能にする方向で調整しているとのことです。無症状でも感染力はあるが、症状がある方をしっかり検査で診断することが優先されると考えてのこと。この方針返還で、陰性の方の無駄な待機時間は軽減されていくと思いますが、今後保育園での感染拡大がどのようになるのか私たちも見守ることしかできない状況です。

※少しでも症状のある方(微熱、咳、鼻水等)は、登園を控えていただきますようご協力をお願いします。

手足口病

現在、那覇市では手足口病が流行しています。

症状：手足や口の中に水疱状の発疹が出ます。

発熱を伴う場合もあります。

当園の目安：発熱や口腔内の発疹が収まり、普段通りの食事が取れるようになっていること。

※登園の際には、登園届を提出してもらい必要があります。用紙は園に常備しています。また、ホームページからもコピーできます。

かゆみのある湿しんは「とびひ」かも

虫刺されや湿しんなどで傷ついた肌を汚れたつめでひっかくと、傷口に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になります。うみをもったような水ぼうがで、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひっかくと大変！水ぼうが破れて中の液が付いた所に、とびひがどんどん広がってしまうのです。水ぼうがを見つけたら、つめでひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

ほくたちのつめも、忘れずに短く切つてね